

第 3 回射水市総合計画審議会 会議録

日 時 令和 4 年 5 月 31 日（火） 午後 7 時～ 8 時 50 分

場 所 射水市役所本庁舎 3 階 302～304 会議室

出席者

（委員）

明石あおい、朝倉あゆみ、岩口久梨果、上田秀永、牛塚松男、大坪清治、大西宏治、荻浦明希子（リモート）、加治幸大、門田晋、木田和典（リモート）、古池清一、笹川征一、鈴木真由美、高市洋介（リモート）、辻ゆかり委員、津田奈由子、釣谷隆行、樋上正之、二川由利子、牧田和樹、松本三千人（リモート）、松本吉晴、宮城克文、宮田妙子、宮田雅人、森由佳子、亘建邦

欠席委員

飯山進、尾山春枝、川原辰弥、塚本清

（当局）

磯部副市長、金谷教育長、島多市民病院長（リモート）、小塚企画管理部長、北財務管理部長、長谷川市民生活部長、小見福祉保健部長、宮本産業経済部長、吉田都市整備部長、夏野上下水道部長、渡邊会計管理者、久々江教育委員会事務局長、吉岡監査委員事務局長、中野市民病院事務局長（リモート）、竹内消防長、荒谷議会事務局次長、坂井財政課長、松下市民生活部次長、京角市民生活部副参事、福井産業経済部次長、森田未来創造課長、盛光商工企業立地課長、杉本企画管理部次長、菅原政策推進課長

1 開会

2 会 長あいさつ

3 議事

（ 1 ） 第 3 次射水市総合計画基本構想素案について

政策推進課 長	資料 1～3 に基づき説明
会 長	資料 1 基本構想素案の 7 ページにある基本構想の構成について意見をいただきたい。
委員 A	枠組みはこれでよいと思うが、「働くあなたへ」の基本方針にある「誇れる仕事」の「誇れる」という表現が気になる。仕事は誇れるとか誇れないとかというものではない気がする。
会 長	「誇れる仕事」というのは、将来の姿をみると、射水で働く方のライフスタイルや価値観にかなった仕事をしているとか、射水にある産業に従事して自分の暮らしを構築するという意味だと思うが、それを「誇れる」という言葉で表してよいかどうかということだと思う。
委員 B	一般的に馴染みのある「好きな」という言葉を使い、「好きな仕事」に変えると範囲が広がり何にでも当てはまると思う。
会 長	「好きな仕事」となると「誇れる仕事」とはジャンルが異なってくる。
委員 A	「多様な仕事」はどうか。

- 会 長 「好きな仕事」という表現は、仕事をする人からみてどういう仕事なのかという視点だが、「誇れる仕事」は射水市にある色々な産業・業種をすべてひっくるめて必要な仕事なんだということを意味している。そういう意味では「多様な仕事」はそれを表している言葉であると思う。
- 委員 C 女性が子育てのために、勇気をもって今の仕事を一旦離れ、子育てに向き合う期間もあると思う。子育ても仕事の一つになると思う。そうした意味も込めて「自分らしい仕事」という表現はどうか。
- 会 長 委員 B、委員 C は人が主語になる形で言葉をつくっており、委員 A はそこにある仕事自体を表す表現を探している。どう捉えるかによってどの言葉がよいか変わってくると思う。
- 委員 D 「誇れる」という言葉だと、他人に自慢するようなニュアンスが出てくるので気になる人がいるのではないかと思う。「誇れる」だと外に向かってという意味合いがあるので、「愛する仕事 (I do)」だと外に向かったの自慢などにはならないと思う。
- 会 長 人が主体になるような形になると、これまでの議論の中で、うまく社会に参画できず仕事にも就けていない時に疎外感を感じるのでは、という意見もあった。その点も併せて意見をいただきたい。
- 委員 E 「誇れる」という表現は少しくつい気がする。ただ誇りを消すのは勿体ないと思う。「誇りがもてる」だと馴染むような気がする。
- 委員 B 育児なども含め社会的な面からみた役割と考えると、「誇れる」を「価値がある」、「仕事」を「役割」に変えて「価値ある役割」としてはどうか。
- 会 長 役割というと、色々な形で他の基本方針にも入ってくるため、どのように調整するか悩ましい。
- 委員 F 働きやすく、働き甲斐もある楽しい職場環境のようなことではないかと思う。そう考えると多種多様にわたると思うので、「多様な」という方が無難な気がする。そこに「楽しい仕事」を付け加えて「元気な産業、楽しい仕事」でもよいかと思う。職場環境のイメージができるとういと思う。
- 委員 G 仕事という言葉は難しい。「働く喜び」としてはどうか。
- 会 長 今出てきている意見としては、「誇れる仕事」を「多様な仕事」、「愛する仕事」、「働く喜び」など様々となっている。ここまで多様な案が出てくると今日ここでは決めるのは難しいので、一度整理したい。
- 委員 H 「元気な産業、多様な働き方」も案の一つとして加えていただきたい。
- 会 長 基本構想の構成は案のとおりとさせていただき、「誇れる」など文言については整理した上で改めて提案することよいか。
- (異議なし)

(2) 第3次射水市総合計画基本計画骨子案について

- 会 長 資料2 基本計画骨子案について質問・意見があればいただきたい。
- 委員 A 資料1の20~21ページのイメージと資料2の骨子案のイメージが合っていないと思う。施策の方向性が複数ある場合、一つ一つの施策の方向性に対して「現状と課題」「主要施策」「成果指標」があるのではないかと思う。どのようにまとめるのか。

政策推進課長	施策の方向性、現状と課題などそれぞれが合致するよう、見せ方について今後検討していきたいと考えている。
委員 A	施策の方向性一つに対して、2 ページ使っていく考え方になるのか。そうするとページ数が多くなると思うが。
政策推進課長	原則として、1 章につき見開き 1 ページにしたいと考えている。
会 長	施策の方向性を複数挙げているところの中には、セットで議論しにくいところもあると思う。基本構想の構成が固まってきているので、そこから施策の方向性をつまみ出す時にこの方法でよいか、まだ議論できる部分があると思う。まとめて記載した時にまとまらない場合は、分けるしかないところも出てくるのではないかな。
委員 I	19 ページ「3-3 市民の安全安心を守る体制を強化する」の主要施策の中に、地域の防災活動の拠り所としての地区防災計画の策定を重視していただきたい。計画をつくるだけでなく、計画に基づき何を実践すべきかという観点が大事だと考える。 31 ページ「7-2 多様な主体による協働と共創のまちづくりを進める」の「現状と課題」と「主要施策」が結びついておらず、観点が少しずれているように思う。例えば「主要施策 1 (2) 活動を牽引する人材の育成」とあるが、育成の前にまずは人材を確保しなければならない。 こうした表現が他にも見受けられる。現状を踏まえた表現に努めてほしい。
財務管理部長	地区防災計画については、自助、共助、公助の共助の強化ということで今年度から取り組んでいる。意見を踏まえ計画の中にどのように位置付けるか検討したい。
会 長	地区防災計画は本来地区が主体となってつくる計画となるので、総合計画に入れるべきか多少議論があるところであると思う。
委員 J	27 地域振興会のうち、いくつかの振興会から地区防災計画を策定してはどうかと申し出があり、先日の射水市防災自治連絡協議会の総会の中でも市と連絡協議会から説明等を行った。富山県防災士会では先行して、県内の各地で地区防災計画を策定しているので、指導いただきながら、地域の防災士とも連携を取りながら進めていきたい。
市民生活部長	現状と課題にある「自治会加入率の低下」「担い手の高齢化」「人材の育成」等については、指摘のとおり、いかに人材を地域において確保するのかを大きな問題と捉えており、この部分を含め表現について検討したい。
会 長	骨子案について、気付いた点があれば別の形で意見をいただければ反映できることもある。骨子案については一旦ここまでとさせていただきます。 続いて資料 1 の 6 ページ (2) 目標人口「ムズムズ人口」についてご意見をいただきたい。
委員 I	「ムズムズ」という言葉は、市民に定着してきていると感じる。ただ、「132 (いみず) 万人」を「いみず」と読めるかということ難しいのではないかと感じる。一見して分かるような、数字の根拠や意味が分かるようにすべきではないか。
会 長	語呂合わせではなく、計算に基づく根拠のある関係人口にした方がよいという意見だが、他の方はどうか。
委員 B	「ムズムズ」というのがよいと思う。数字に関しては語呂合わせだけではなく、ある程度根拠のある数字と近いならばそれでよいと思う。
委員 A	指摘のとおりであり、計画に示す数字には根拠が必要だと思う。ただ、ここで扱う「関係人口」にはまだ定義がないため、遊び心があってもよいのではないかな。根拠をつくれる数字と夢のある数字を使い分けて取り入れられると、射水市らしさも

出てくると思う。

会 長 関係人口は定義が難しいため、根拠付けせずに夢の数字として設定することも、個人的にはあると思う。

委員 I 「ムズムズ人口 132 万人」の説明文をみると、132 万人という人数について、中途半端に根拠付けしようとしているように読める。変に理屈を付けようとせずに、一層のこと、ここは遊び心で徹底した方がよいと思う。

会 長 遊び心で「132 万人」にするならば、文章を「こうなると良いな」とした方が納得できるということだと思う。その方向で文章を再検討させていただきたいが、いかがか。

委員 F 132（いみず）万人はよいと思うが、目標値としては低いと感じる。定住してくれるのは 1 万人に 1 人という感覚があり、そう考えると、ムズムズ人口が 132 万人だと定住人口は 132 人となる。そういう意味では、もっと大きな目標でもよいと思う。語呂はよいので 132 を活かしたものになればと思う。

会 長 132（いみず）を活かした形で数字をつくり、遊び心でこうなるとよいなという説明をする方向でまとめてみたいと思う。

（3）射水市の将来像（案）について

会 長 続いて、資料 3 の将来像案について、皆さんで一次投票を行いたい。まずは案について意見をいただきたい。

委員 G これまでの意見を踏まえると、「ムズムズ」という言葉が入ってもよいと思う。そう考えた時に、案を少し修正して、「いろいろ、ひろがる、ムズムズ 射水」としてはどうか。

委員 A 案の「価値ある時間」を「ムズムズ時間」にすればよいと思う。

会 長 ムズムズという言葉はどこかに入れるという意見だった。そうすると可能性として、案を「ムズムズ時間を過ごせるまち まちにあふれる射水の本気」、案を「いろいろ、ひろがる、ムズムズ 射水」に改変して新たに ` と ` の 2 案を追加してはという意見があったが他の方はどうか。

委員 B 「ムズムズ」をどこかに入れるのは同意する。また、楽しいところに人は集まるので、キーワードとして「楽しい」が表に出てもよいと思う。

委員 H どの市町村のキャッチフレーズが分からないということがないように、案を「多様な個性を認め合い 共に創る射水」としてはどうか。

会 長 今の案を ` とし、拳がった 案 ~ ` 案までの 6 案に、付箋を使って投票してほしい。

（投票）

会 長 多く票を集めたものは、` 案「ムズムズ時間を過ごせるまち まちにあふれる射水の本気」が 33 票、` 案「いろいろ、ひろがる、ムズムズ 射水」が 35 票であった。

意見として「ムズムズを入れた方がよい」、「リズムがよい」、「抽象性が高いので 10 年間もつ」などがあつた。

リモート出席の接続環境の問題で、投票できなかった委員から意見はあるか。

委員 D ` 案に 4 票入れたい。

会 長 現時点では ` 案または ` 案で進みそうだが、他に意見はあるか。

意見がなければ、これらの案を一度引き取り、次回提案させていただくのはどうか。

(異議なし)

会 長

では、`案と`案を中心に今回の案を一旦、会 長、副会長で引き取り再提案する。

本日の意見を踏まえ、基本計画素案を作成する。また、将来像についても検討して提案する。次回の審議会への資料の反映については、会 長、副会長に一任でよいか。

(異議なし)

4 その他

会 長

今後の開催日程について、事務局から説明いただきたい。

事務局

部会を7月下旬頃に開催し、基本構想、基本計画の素案をお示ししたい。その後、全体会を8月下旬頃開催し、部会の意見を反映したものをお示ししたい。日程については調整の上、改めてご連絡する。

副会長

色々な意見をいただけたので、充実したものができると思う。将来像についても、「ムズムズ」を入れるなど、射水らしい方向に向かっていると思う。将来像・キャッチフレーズにイラストもあるので、できればそこも一緒にできると、なお射水らしさが出ると思う。射水らしい将来像をつくれるとよいと思う。

会 長

基本構想の構成については、概ねこの形でよいと認めていただき、「誇れる仕事」の部分のみ検討させていただく。基本計画骨子案については、中身を点検し、形を整え再提案となる。また、将来像については`案と`案を中心にまとめる。

副市長

熱心に議論いただきありがたい。本日発言機会のなかった委員の皆様についても、これまで各部会で熱心に議論いただいたことを承知しており、感謝申し上げます。今日、やっと骨格がみえてきた。今後、詳細な施策に踏み込んで、部会で議論していただくことになるが、引き続き、ご尽力を賜うことをお願いしたい。本日は、「ムズムズ」という言葉が、こんなにパワーワードであることに大変驚いた。この言葉を活かし、総合計画をつくり上げていきたい。

5 閉会

以上